

平成27年度 第2回坂町総合教育会議録（会議概要）

- 1 日 時 平成27年12月17日（木） 16時30分～17時30分
- 2 場 所 坂町役場 会議室1
- 3 出席委員 吉田隆行町長・松村英勝教育委員長・枝廣泰知教育長
埤本友造教育委員・平沖純子教育委員・向井智恵教育委員
- 4 出席職員 新木総務部長・河本教育次長
新谷学校教育課長・福嶋生涯学習課長・藤原学校教育課主幹
肥田学校教育課係長

<会議概要>

1. 開会宣言（新木総務部長）

2. 吉田町長あいさつ

3. 「平成28年度坂町教育に関する大綱（案）」の作成について

（1）平成27年度坂町教育に関する大綱について

- ・河本教育次長概要説明

（2）坂町まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について

- ・新木総務部長及び河本教育次長概要説明

（吉田町長）

今、資料を見たばかりで難しいかもしれないが、何か意見等があれば伺いたい。

（枝廣教育長）

教育委員会会議の中で、坂町まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子について報告はしている。

（新木総務部長）

12/18の議会で報告した後、住民にも周知しパブリックコメントする予定である。委員の皆様からも意見があれば、企画財政課に問い合わせしてほしい。

（吉田町長）

中学校が実施している保育実習は良い取組だと思う。ただ、ここから更に発展させる取組をお願いする。家族愛・郷土愛を醸成することは重要である。それを子ども

もの頃から培うには教育現場が一番だと考える。

(枝廣教育長)

結婚して、子どもが生まれ、育てていくという段階があるが、保育実習において、実際に幼児と触れ合い、温もりを感じることで人間としての喜びを肌から感じ取ることができるのが本実習の良さだと考える。また、道徳の時間等において家族愛について考えていくなど、家族の大切さを学ばせたいと考える。

(吉田町長)

家族を持つ喜びを感じさせるために、あらゆる工夫をして学ばせる環境を作る必要がある。

4. 「児童生徒の体力づくりと教育環境の整備等」について

- ・藤原主幹概要説明

(吉田町長)

今は鉄の棒でできた遊具で遊ぶしかない。昔は竹の棒を木などに立て掛け、それによじ登るなど、自然と触れ合いながら、遊びの中で体は鍛えられていた。昔も逆上がりや懸垂ができない子はいた。しかし何度も何度も挑戦し、やがてできるようになった。やはり、元気な子どもを育てていくことが重要である。地球温暖化が夏の暑さに大きく影響していると思う。エアコンを使用すると地球温暖化を更に進めることにもなる。何が一番良い方法かはわからないが、学校の取組のように児童生徒が自ら考え工夫することが知恵となるので良いことだと思う。

5. 平成28年度主要事業（案）について

- ・新谷学校教育課長及び福嶋生涯学習課長概要説明

6. その他

(吉田町長)

学校施設ではプールの全面改修を要するのだが、文部科学省の補助は非常に少なく、財源確保に苦慮している。国の補正予算で学校関係500億円程度計上されていたが、おそらく耐震関係の予算であろう。

(枝廣教育長)

安全・安心を第一に考えた上で、施設整備を考えていかなければならないと思っている。

(吉田町長)

屋上の漏水など、耐震改修工事の際に何か工夫して策を講じておけば良かったのではないか。給食センターも建設当時は県内外から視察に来るなど、最新のシステムを整備したが、今では経年劣化している。児童生徒の食の拠点となる場所であるため、食の安全のためにも一番留意して施設管理する必要があると考える。

(枝廣教育長)

最優先で考えている。

(吉田町長)

先ほど、小学校の体力づくりの取組は説明があったが、中学校はどうか。

(藤原主幹)

中学校は部活動があるためか、体力は学年が上がるごとに上昇している。しかし、1年生の体力が低い状況にあった。入学後すぐにある体力テストであるため、小学校時代の取組が重要と考えた。小学校の取組が中学校に繋がると考え、先ほどの説明のように取組んできた。

(吉田町長)

体力がなければ、何もできない。当然学力も大切だが、体力が一番と考える。子どもにいろいろな経験をさせ、雑草のごとく育てていかなければならない。私たちの時代は、山など自然を駆けまわることによって体力がついていた。当然、部活動も活性化させることが大切である。専門的指導ができる人材が必要なら、措置できるように考えたい。

(枝廣教育長)

良い人材がいれば、措置したい。

(吉田町長)

がんばろうとする子どもたちを、バックアップするのが我々大人の役目だと考える。これからも、よろしく願います。

7. 閉会宣言 (新木総務部長)